

大阪府立住之江支援学校 第3回学校運営協議会 議事録

校名	府立住之江支援学校
校長名	三宅 康寛

開催日時	令和 8年 3月 17日
開催場所	住之江支援学校 図書室
出席者(委員)	伊藤委員 馬場委員 今枝委員 相澤委員 芦田委員 (書面) 松崎委員
出席者(学校)	三宅校長 岩井教頭 岡本教頭 田中事務長 島山首席 藤井首席 油田首席
傍聴者	傍聴者0名
協議資料	令和7年度学校経営計画及び学校評価、学校教育自己診断の集計結果 令和8年度学校経営計画及び学校評価

議題等(次第順)

- ・校長挨拶
- ・令和6年度 学校経営計画 及び学校評価(評価案) について
学校教育自己診断の結果について
- ・令和7年度 学校経営計画 及び学校評価(計画案) について

協議内容・承認事項等(意見の概要)

●令和7年度 学校経営計画及び学校評価(評価案)について

評価案について承認された。

意見の概要

(伊藤委員)ICTの活用で、タブレット等を直接触ることがあると思うが、触る前にネットリテラシーなどの本を読んでから、などの指導があれば良いと思う。(馬場委員)(在校していたとき)アンケートで何を問うているのかわかりにくかった。自分で回答できる児童生徒さんだけでなく、自分で回答できない児童生徒の声をどうするか。(伊藤委員)困っている人ほど「私は困っている」と声をあげにくいことがある。(馬場委員)声をあげることが難しいひとたちの意思を、親とか教員とかが表情であったり様子が困ることも必要であると思う。(今枝先生)ICT機器の活用についてだが、必要に応じたところで必要に応じて使われているかが重要。教員が必要だと思うところと児童生徒、保護者が必要と思うところが違っていたりする。教員が必要だと思うところが、児童生徒、保護者へ伝えれば良いのだが、そこが難しかったりする。小学部からのキャリア教育を保護者の方へどう伝えていくか、また教員自身がどう意識していくのかということが重要なんだろうと思う。キャリア教育について小学部で行っていることがどう中学部、高等部へとつながるか、そして社会へとつながっていくかを示せばこの項目は上がっていくのではと思う。教員アンケートでの35教職員の適正・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員は意欲的に取り組んでいる。については、分担がなされているかが重要なのだと思う。

(相澤委員)本園のほうでもアンケートをとるが、アンケートの項目が多いと読むのが大変となるので、項目を少なくさせていたでいる。どこを重要にしていくかとポイントを決めることが必要かと思う。また支援計画を実習や体験の受け入れの時に参考とさせていただくが、学校で計画したものをどのように段階をふんでいっているのかや、支援について等、細かな部分もわかれば、本人さんのどういったところを伸ばしていけるのかなど、対応できるのかなと思う。(芦田委員)アンケートの項目内容はやってみてわかるものもあり、去年あったから、やできたからとかではなく、どこのポイントがいいのかなど、継続的な検討がいいかなと思う。聞いて良かったと思ったのは、学校祭の大きな変化があったが、生徒アンケートで高評価につながったというのは、生徒さん自身も充実されていたのだなと思った。大きな変化でも実行できるモノづくりをされたことで生徒さんの自信になったのでは。また安全面での対策強化はとても大事だと思う。PTAの皆さんとの連携を図ることは大切である。個人情報についても難しい問題であるが、問題点としてあげることが抑止力にもつながると思う。

●令和8年度 学校経営計画及び学校評価(計画案)について

計画案について承認された。

意見の概要

(今枝委員)学校での泊についての実施は東京都で実施されているが、意識が変わったのかなどの効果についてはまだなかなかあがっていない。実施されるのであればアンケート等で児童生徒の感想等も聞かれてはと思う。また実際に災害があった時に、全員の教員が学校に来れることはないのでは少ない人数での体制づくりがいる。「すみのエインクルーシブカフェ」の支援学校間での合同開催は良いと思う。地域で困っていることがあれば支援学校同士であったり小中学校同士でのつながりが持てれば良いと思う。(伊藤委員)地域の関わりというところでは、私も近隣で働いているので、今後も関わっていけたらと思う。(馬場委員)本校の事例を通しての理解を深める研修が行われているのが良いと思った。学校での泊の訓練について、何を狙いをするのが大切では。(三宅校長)非難学習となるので、いきなり実施ではなく、現在実施している学校での視察、情報を集めて、実施に向けて整理していく。(馬場委員)地域の方との連携も必要では。(三宅校長)地域の危機管理室とも連携し確認を行っていき、実施を慎重に進めていく。(相澤委員)本園でもアセスメントの見直しを定期的に行っている。学校でのアセスメントの変化等も教えていただけたらと思う。(芦田委員)その取り組みで何の効果が見られるのか、また、そこまでのプロセスが大事だと評価指数のところをみながら思った。4つ目の目標での対象となる先生にどういったところで充実を感じるのかなどを聞き取りながら案ができればと思う。一方通行にならない形での実施となればと思う。(三宅校長)実質的な効果として何が上がっていくのかを大事にしていけないか、と思う。授業づくりの研修なども実質的な効果につながっているのか、教職員が求めているものなのかを見極めながら令和8年度も学校経営計画に取り組んでいきたい。

日時	令和8年度7月を予定
会場	本校